

個人質問

議会事務局 処理欄	令和 3年11月16日 11時16分 受付
	質問 順位 第 13 番

武豊町議会議長 石原壽朗 殿

武豊町議会議員 野田佳延

一般質問の通告について

令和3年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨（具体的にご記入願います）
1. 武豊町ゼロカーボンシティについて	<p>【趣旨説明】</p> <p>本町は令和3年2月2日に「ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明しました。それは、来年本格始動する JERA 武豊火力発電を前にしてのことでした。COP26 がつい先週開かれ岸田首相は30年までに2010年比45%の削減といっていますが世界の先進国 EU は55%、イギリスは68%以上、アメリカは50～52%、日本は世界平均以上の責任があります。7月21日第6次エネルギー基本計画で、2030年度の発電量に占める石炭火力の割合は26%～19%でした。すでにイギリスー2024年、フランスー2022年、イタリアー2025年、ドイツー2038年、カナダー2030年など多くの国々が石炭火力から撤退年度を表明し、アメリカは2035年までに「電力部門のCO2排出実質ゼロ」を表明しています。エネルギー基本計画では2030年に原発で発電の20～22%をまかなうとしています。研究者のグループからは既存の省エネ・再生エネ技術だけでもCO2を93%削減できるという提言もあります。先ほど武豊町の地球温暖化対策実行計画書が出され、職員一人一人の努力で取り組み、町民一人一人の力で頑張ってもらいたいと考えています。この地球温暖化で海の生態系に悪影響を及ぼし、漁業への悪影響が心配されている。</p> <p>また、日本では、2018年に西日本豪雨や、記録的な猛暑、台風21号などがあった。気候の変動は日本に住む私たちにとっても緊急に解決しなければならない死活的な大問題と考えております。</p> <p>そこで、今一度脱炭素社会に向けて本気で取り組む本町の姿勢を問う。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本町の温室効果ガス排出量の目標はどの程度で現状はどのようになっているのか。 ② 本町で稼働が予定されている JRA 武豊火力発電所は、石炭が主燃料だが本町としてはどのように考えているのか。 ③ 公共施設で実践している再生エネルギーはどんなものがあり、どの程度のエネルギー量なのか。
2. 平和行政について	<p>【趣旨説明】</p> <p>平和首長会議は、2021年7月に「持続可能世界平和な変革のためのビジョン」と行動計画を作成した。このビジョンは、「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力ある都市の実現」、平和文化の振興」の三つの目標を掲げている。このことについて本町の取り組みについてどう考えているのか</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本町は平和都市宣言をしているが、「核兵器禁止条約」の早急締結を求める署名活動を支援していくつもりはあるのか ② 戦後76年が経過し、戦争の体験者が少なくなっている中、戦争の記憶を次世代に継承するための取組が必要と思うがいかがか。 ③ 学校教育で活用するため、戦争体験の記録を本等にすることを考えるか。